

みずじゅんかん 「水循環」を知っていますか？

水循環のしくみ

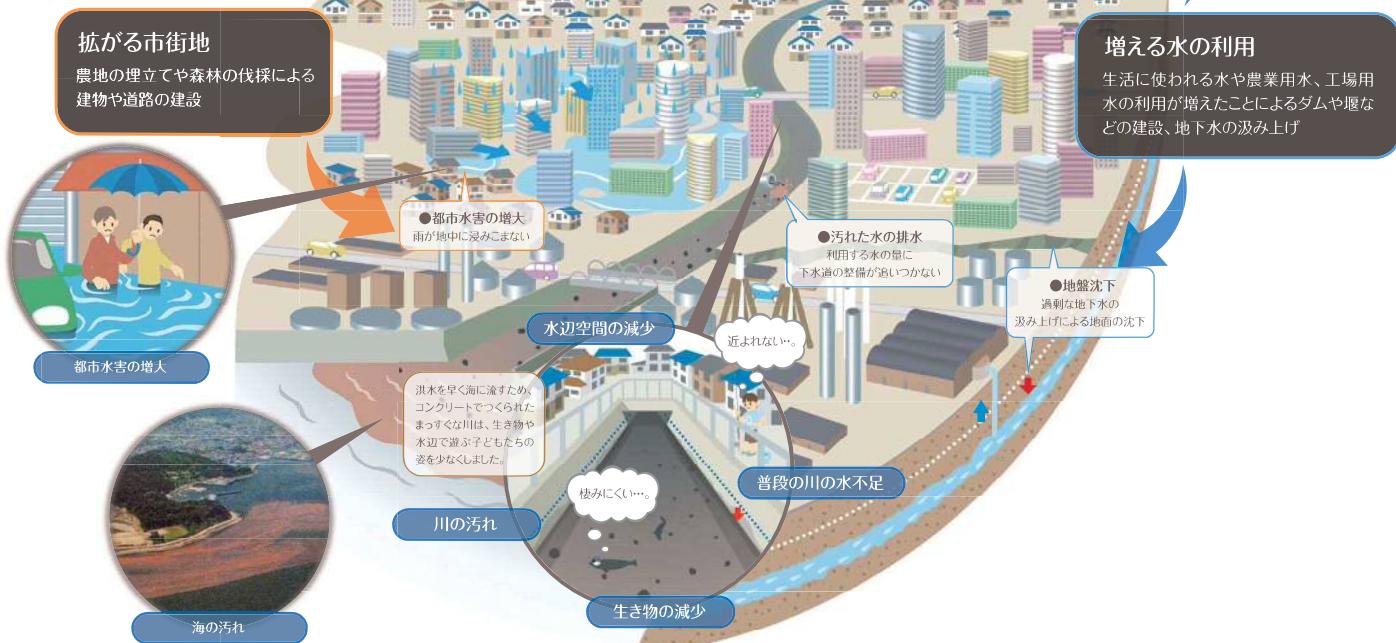
みなさんは水がどこからやってくるか知っていますか？
水は、雨や雪として森や畑などの地上に降り、地中に浸み込みながらゆっくり川に流れ、そして、海にたどり着きます。また、川や海などの水は太陽のエネルギーにより暖められ、水蒸気となって雲になり、再び雨や雪として地上に降ります。この繰り返しを「水循環」と呼んでいます。



水循環の問題

まだ、生活で使う燃料が木だった頃、わたしたちは、山の木を切ったり、川で洗濯をしていました。川には生き物がたくさん棲み、子ども達は川で遊ぶなど、水は私たちに多くの恵みをもたらしてきました。

しかし、人口が急激に増加した昭和30年代から50年代の高度経済成長期、わたしたちが便利な暮らしを求めるあまり、それまでの水循環に大きな「ひずみ」が生まれました。

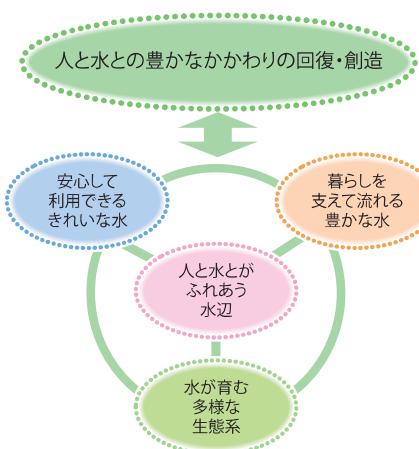


「健全な水循環」をとりもどすために

あいち水循環再生基本構想

愛知県では、よりよい水循環を目指すため、平成17年度に「あいち水循環再生基本構想」をつくりました。

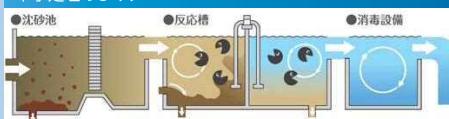
この構想は健全な水循環となるように、人と水との豊かなかかわりを見つめなおして、将来にわたって取り組むものです。この構想では水循環の機能に着目して「きれいな水」、「豊かな水」、「いろいろな生き物が棲める水辺」、「ふれあえる水辺」の4つの姿を構想の「めざす姿」として設定しています。



1 「きれいな水」にするために

きれいな水にするために、下水道の整備や合併処理浄化槽※の整備など、さまざまな取り組みをしています。
※合併処理浄化槽は、下水道に接続されていない地域で、家庭からの水をきれいにする家庭用の設備です。

下水処理のしくみ



処理場に運ばれた下水の中の大さなゴミや砂をしづめて取りのぞきます。



微生物が水のよごれを食べ、かたまりとなってしまいます。

2 「豊かな水」にするために

水を貯える森の手入れや田んぼやため池を保全します。また、地中に水が浸み込むように、透水性舗装の歩道にするなどの取り組みをしています。



3 「いろいろな生き物が棲める水辺」にするために

川や海の生き物が棲みやすいように、自然たくさんある川や海づくりなどの取り組みをしています。



4 「ふれあえる水辺」にするために

みんなが水辺に近づき、遊べるようにするために、川岸に階段をつくるなどの取り組みをしています。



尾張地域 西三河地域 東三河地域 「水循環再生地域協議会」



「あいち水循環再生基本構想」を着実に推進するため、地域の特性を考えて、尾張・西三河・東三河の3地域に「水循環再生地域協議会」を設立し、県民や事業者、民間団体、行政が一緒になって取り組んでいます。



大切な水を守るために

きれいで、たくさんの魚が棲める川や海にするために、みんなにもできることがあります。私たち一人ひとりが身近な水辺について、考え、行動することが大切です。

参 加 してみよう

森や川、海など、私たちの身近な場所で、地域や民間団体、行政が行うイベントがたくさんあります。これらのイベントに参加し、水への関心をもちましょう。

身近な水辺を調べるイベント



流域モニタリング一斉調査



水生生物調査

環境について学べるイベント



干潟の生き物観察会



人工林の間伐体験



川や海のクリーン活動

水辺を美しくするイベント



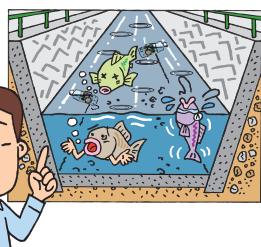
調べて 考えてみよう

興味を持って身近な水辺にいくと、さまざまな疑問がわいてきます。家の人に聞いたり、本などでいろいろ調べて、考えてみましょう。

いつも、飲んでいる水はどこからきて、どこへ行くの?



どうして川や海が汚れたり、ゴミがあるの?



昔、たくさんいた魚はどこにいったの?



食卓の魚はどこで獲れたの?



行 動 しよう

私たちにできることから1つ1つ行動ていきましょう。

水を大切にしましょう。



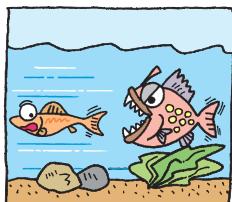
油残りや残飯を直接流さないようにしましょう。



ゴミは持ち帰りましょう。



外来種を持ち込まないようにしましょう。



地元でとれたものを積極的に食べましょう。



尾張地域・西三河地域・東三河地域 水循環再生地域協議会

事務局・愛知県環境部水地盤環境課 電話 052-954-6220(ダイヤルイン) FAX 052-961-4025

ホームページ <http://pref.aichi.jp/kankyo/mizu-ka/index.html>